

2026年4月14日

NTT 株式会社
NTTアーバンソリューションズ株式会社
NTT 都市開発株式会社
NTT 東日本株式会社
第一生命保険株式会社
中央日本土地建物株式会社
株式会社帝国ホテル
東京センチュリー株式会社
東京電力ホールディングス株式会社
三井不動産株式会社

「(仮称)内幸町一丁目街区開発プロジェクト」の街区名称を 「HIBIYA CROSSPARK」に決定

都心最大級延床面積約 110 万㎡、日比谷公園と一体となった比類なき街づくり

「内幸町一丁目街区(東京都千代田区内幸町一丁目、以下「当街区」)」の開発を推進する事業者は、「(仮称)内幸町一丁目街区開発プロジェクト、以下「本プロジェクト」)」の街区名称を「HIBIYA CROSSPARK(日比谷クロスパーク)」に決定し、ロゴマークおよび街区コンセプト「風が生まれる場所になろう。」を策定しました。

あわせて、「HIBIYA CROSSPARK」のWEB サイトおよびコンセプトムービーの公開をお知らせします。



「HIBIYA CROSSPARK」完成イメージ



本プロジェクトは北地区・中地区・南地区の3つの地区で構成されており、オフィス、商業、ホテルなどの多様な用途から構成される、都心最大級延床面積約110万㎡の大規模複合開発です。全体完成に向けて、2028年度に南地区のタワーが、2031年度に中地区のNTT日比谷タワーが順次竣工予定です。

■街区名称「HIBIYA CROSSPARK」

<街区のめざす姿>

当街区は、事業構想「TOKYO CROSS PARK 構想」に基づき、周辺の駅や都心主要拠点、そして隣接する日比谷公園を結ぶ“結節点”として、次のような価値が生まれる街をめざします。

- ・ 都心最大級延床面積約 110 万㎡というスケールを活かし、日比谷公園と一体となった広がりの中で、行きかう人々が思わず足を運びたくなる、心地良さと上質さを兼ね備えた街
- ・ 気軽に足を運べる日常の延長にありながら、訪れるたびに新しい発見や普段触れることのない価値に出会える街
- ・ 都心の主要エリアの結節点として、多面的な顔を持ち、異なるもの・多様な人が交わり響き合いながら常に進化し続ける街

<街区名称>

「CROSS」と「PARK」という 2 つの言葉を組み合わせた造語「CROSSPARK」を採用し、それぞれの言葉には次のような意味を込めています。

「CROSS」: 多様な価値観が響き合う結節点であること

さまざまな人・モノ・コトが共鳴・共創し、新しさ・心地良さなどの価値が感じられる街区であること

「P A R K」: 風を感じる空間で、自然体で心地良い時間を楽しめること

■ロゴマーク

当街区が位置する日比谷らしさを意識し、街区としてめざす姿をデザインに落とし込みました。



街区の空間特徴を捉えた形をベースに、日比谷の「日」を思わせる印象的なデザインを採用しています。スクエアの重ね合わせで「結節点」を、空間を開けることにより「風の通り」を、エリアにあふれる緑をイメージしたグリーンによって「自然との融合」を表現。これらの要素を組み合わせ、街区名称「HIBIYA CROSSPARK」の特徴を凝縮させたアイコンです。フォントは軽やかに動くようなデザインとし、そよ風に吹かれるような居心地の良さを感じていただけるよう、願いを込めました。

■コンセプト・ステートメント

この街区から発信していく価値となる、「HIBIYA CROSSPARK」の存在意義や意志を体現するコンセプトを「風が生まれる場所になろう。」に決定しました。

風が生まれる場所になろう。

都会の真ん中に、自然が広がる。
経済が動く街に、文化の香りが漂う。
働く人がいて、休む人がいる。

多様なものが出会い、
響き合うことで生まれる
あたらしさ、こちよさを
私たちは、風と呼ぶ。

人と、街と、公園と。
すべてが交わったとき、
ここにはどんな風が生まれるだろう。



コンセプト「風が生まれる場所になろう。」は、当街区らしさである多様な価値観の出会いや響き合いによって生まれるポジティブな要素を「風」と表現しています。当街区は、さまざまな風が生まれる場所になり、その風を、この街のみならず、日本、さらには世界へと広げていくという未来への意志も込めています。

■コンセプトムービー

「HIBIYA CROSSPARK」から生まれるさまざまな「風」を、当街区のコンセプトを体現するロゴマークを軸に、アニメーションを用いて視覚的に表現しています。「HIBIYA CROSSPARK」の世界観を伝えるこのシンボリックなムービーを通して、この街が完成する未来への期待感を醸成します。

※コンセプトムービーURL:<https://youtu.be/jedb0S2pSo>



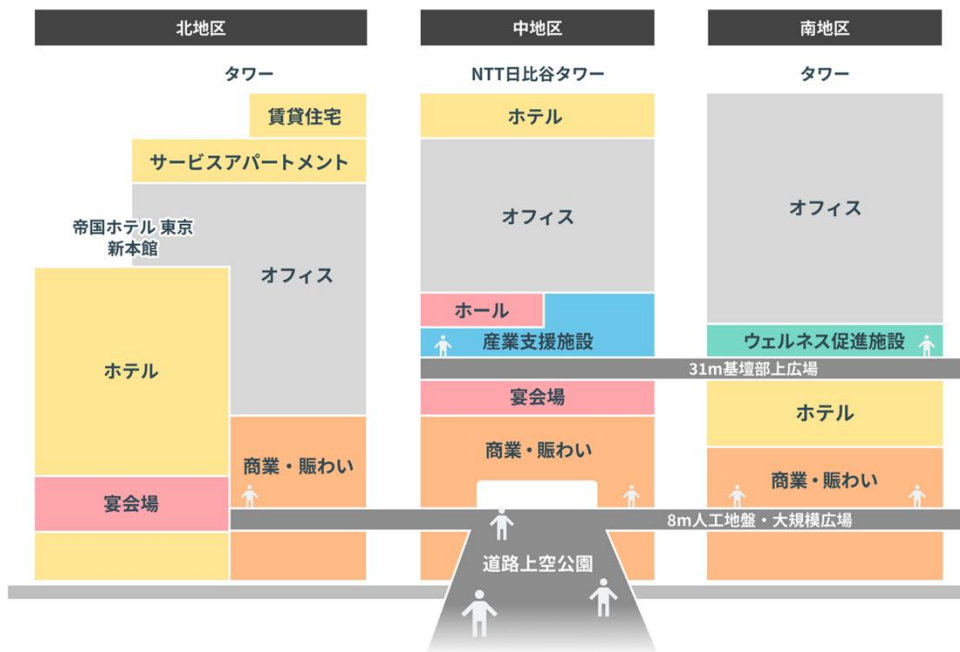
■当街区の文化・歴史性および特徴

当街区および有楽町一丁目街区で構成される日比谷・内幸町エリアは、1800年代後半に国賓や諸外国の外交官をもてなす社交場・迎賓館として、鹿鳴館と帝国ホテルが誕生して以降、現在も国際迎賓拠点を担っています。大手町、丸の内、有楽町、銀座、霞が関、新橋といった日本有数の業務・商業エリアの結節点に位置し、皇居、日比谷公園に隣接する緑・水に恵まれた環境です。さらに、約6.5haを超える大規模な当街区では、エリア内に首都の中核機能を支える電力・通信などの重要インフラ施設を有しています。これらの施設の機能更新とともに、ICTなどの先端技術を活用し、カーボンニュートラルや防災の先進・中心拠点としての機能を担うことが期待されています。

■「HIBIYA CROSSPARK」完成イメージ



街区用途概念図



計画概要

	全体	北地区		中地区	南地区
		帝国ホテル東京新本館	タワー	NTT日比谷タワー	タワー
事業者	-	株式会社帝国ホテル 三井不動産株式会社		NTT都市開発株式会社 ^{※1} 東京電力パワーグリッド株式会社 ^{※2}	第一生命保険株式会社 中央日本土地建物株式会社 東京センチュリー株式会社 東京電力パワーグリッド株式会社 ^{※2} TF内幸町特定目的会社 ^{※3}
敷地面積	約6.5ha	約2.4ha		約2.2ha	約1.9ha
延床面積	約110万m ²	約15万m ²	約27万m ²	約36万m ²	約29万m ²
高さ・階数	-	約145m 地下4階 地上29階	約230m 地下4階 地上46階	約230m 地下6階 地上48階	約230m 地下3階 地上46階
主要用途	-	ホテル 宴会場等	オフィス 商業 サービスアパ ートメント 賃貸住宅等	オフィス 商業 ホテル ホール 宴会場 産業支援施設等	オフィス 商業 ホテル ウェルネス促進施設等

※1 NTT都市開発株式会社は、NTTアーバンソリューションズ株式会社のグループ会社です。NTT株式会社及びNTT東日本株式会社は、中地区の関係権利者です。

※2 東京電力パワーグリッド株式会社は、東京電力ホールディングス株式会社のグループ会社です。

※3 TF内幸町特定目的会社は、東電不動産株式会社が出資する特定目的会社です。

※4 2028年度に南地区タワーが、2031年度に中地区NTT日比谷タワーが順次竣工予定です。

※5 2022年3月24日時点の情報を基に、一部情報を2026年4月14日時点に更新しています。

※6 記載内容は今後の検討により変更となる可能性があります。

■関連リリース

- ・内幸町一丁目街区中地区「NTT 日比谷タワー」新築工事着工 “進化し続ける価値創造のプラットフォーム”の実現をめざして(2025年12月8日)
<https://www.hibiya-crosspark.jp/pdf/news-251208.pdf>
- ・「内幸町一丁目街区南地区第一種市街地再開発事業」着工～日比谷公園に隣接した敷地に延床面積約 29 万㎡の大規模複合ビル(2025年4月3日)
<https://www.hibiya-crosspark.jp/pdf/news-250403.pdf>
- ・都心最大級延床約 110 万㎡、日比谷公園と一体となった比類なき街づくり「TOKYO CROSS PARK 構想」を発表 内幸町一丁目街区における次世代スマートシティプロジェクト(2022年3月24日)
<https://www.hibiya-crosspark.jp/pdf/news-220324.pdf>
- ・「内幸町一丁目街区」におけるまちづくり方針の合意について(2021年3月25日)
<https://www.hibiya-crosspark.jp/pdf/news-210325.pdf>

※本リリースの内容は、発表時点での情報であり、今後変更が生じる可能性があります。